

# 札幌皮膚病理研究所ニュース

2008年5月号



## 上手な 依頼書

ヤンセンファーマDermaフォーラム2008にて木村鉄宣が講演した『臨床医と病理診断医はこんな間違いをする 一皮膚病理診断の現場報告』の中から、『上手な検査依頼書の書き方について』をご紹介します。

### 1 臨床病名を書く

疑い病名の列記でもよい。  
とくに炎症性皮膚疾患では必要である。

### 2 検査の目的を書く

臨床診断を確認したい  
特定の腫瘍を否定したい  
良性か悪性かの判断 が必要など

### 3 臨床情報を充実させる

患者の年齢や性別  
病変の部位と分布  
個疹の形態などの臨床像

### 4 検体の切り出し方を指示する

紡錘形に腫瘍を切除する場合、長軸方向より短軸方向で腫瘍周囲の正常組織の範囲が狭くなることが多い。従って一般には短軸方向で切り出すよう指示することが望ましい。長軸方向に余裕がないときは、長軸短軸両方向への切り出しも必要になる。悪性腫瘍を疑うときは特に細かな指示が必要となる。

## 研修医紹介

はじめまして、こんにちは。

このたび4月1日から30日までの1ヶ月間、

研究所で研修させていただきました。札幌厚生病院皮膚科の加賀谷と申します。

1ヶ月間だけでも一般病院では経験できない大変な病理標本数で、

貴重な勉強をさせていただきました。数をみることにより組織に目が慣れ、絶対数が多いが故に稀な疾患を実際に多数目にでき、一般皮膚良性腫瘍でも病期による変化・バリエーションの違いを確認できました。

悪性と良性の鑑別が難しいものも意外に多く、そういった難しい症例やセカンドオピニオンの症例をどうやって結論にもっていくのかということを経験できたことは、今回の機会があってこそその経験と思いました。

このような機会を与えてくださった木村先生・高橋先生をはじめ、暖かく迎えていただいたスタッフ・研修医の3名の女医の皆様方にも心から御礼申し上げます。今回得た知識や経験を、日常診療にもどって少しでも還元できればと考えております。ありがとうございました。



厚生病院  
加賀谷真紀子先生

## 研究所スタッフ紹介コーナー

一研究所で働くスタッフをご紹介しますー



定久 恵子  
(事務長)



高野 敦子  
(報告書業務主任)



田中 恵子  
(報告書業務主任代理)



和田ひろみ



西村真由美



矢野 久美



↑実際の  
報告書業務の様子

いつも明るくそして真剣に業務に携っている事務スタッフ達です。

報告書業務では皆様からいただいた診断依頼の受付入力・印刷・発送までをさせていただいております。また、セミナーなどの受付業務やホームページ更新など多岐に渡って皆様と関わらせていただいております。お電話やまた実際にお会いする機会もあるかと思いますが、その際もどうぞよろしくお願いいたします。

## 学術業績・学会発表・最近の活動

● 第107回日本皮膚科学総会 2008.4.18-20

ポスター発表 演題「Low grade myofibroblastic sarcomaの一例」

発表者：曾和順子、加茂理英、今西久幹、川上倫子、福本隆也、木村鉄宣、石井正光 (敬称略)

## 今後の活動予定

● 第97回日本病理学会総会 2008.5.15

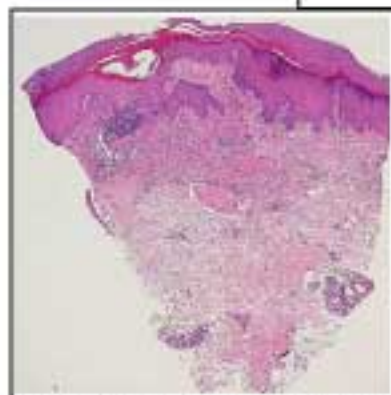
「Very early stage of malignant melanoma」

発表者：新井栄一、金玲、木村鉄宣、安齋真一、小川史洋、廣瀬隆則、清水道生 (敬称略)

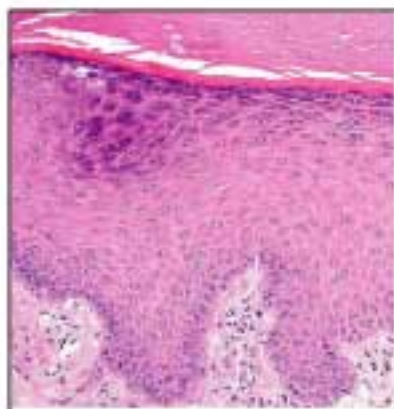


## 今月の症例

52才、男性 生検部位：胸部  
臨床診断：：skin tumor 病理組織診断：Prurigo nodularis



半球状に隆起する病変で正常角化した角層の肥厚、顆粒層の肥厚を伴う表皮稜の不規則な延長がある。



表皮稜の不規則な延長と角層肥厚と顆粒層肥厚がある。真皮乳頭層の血管は拡張している。

リンパ球中心の炎症性細胞浸潤がある。真皮乳頭層で太い膠原線維が表皮に対して縦走する。

## セミナー情報

お早めのお申し込みには割引が適用されます！  
(基礎編東京会場の早割は5/6お申込分まで)

第7回 皮膚病理講座 基礎編 (開催地：東京)  
「病理用語と各種皮膚疾患の病理組織像の解説」

日時 2008年6月7日(土) 10時~17時  
6月8日(日) 9時~16時

会場 日本医科大学 千駄木キャンパス

共催 日本医科大学皮膚科

定員 100名

参加費 32,000円

(早期申込割引参加費：28,800円)

講師 木村 鉄宣 (札幌皮膚病理研究所 所長)

助言者 福本隆也 (奈良県立医科大学皮膚科学教室)

●専門医試験前に知識の整理をしたい方に。

●「皮膚病理が苦手」「興味があるがどう勉強しているかわからない」「皮膚病理の指導法を知りたい」という皮膚科医と病理医の皆様方に。

皮膚病理に必要な基礎知識(正常組織、臨床・病理用語)と、各種皮膚疾患の病理組織像を「あたらしい皮膚科学」(清水宏著)に準拠して解説します。このセミナーを機会に、「あたらしい皮膚科学」を完全に理解し把握していきます。

詳しいお申し込み方法・新着情報はホームページ ([www.sapporo-dermpath.com](http://www.sapporo-dermpath.com)) をご覧下さい。

この他にも様々なセミナーを多彩に開催していく予定です。

・第8回 皮膚病理講座 基礎編 (開催地：大阪) 「病理用語と各種皮膚疾患の病理組織像の解説」

・第1回 皮膚病理講座 診断編 「皮膚病理診断への第一歩」

・第15回札幌皮膚病理セミナー (開催地：札幌)

「臨床皮膚科に役立つ皮膚病理学」 (主催：NPO法人 皮膚病理発展推進機構)

ぜひ一度ホームページで各セミナーの詳細をご覧下さい。

## What's new 研究所

スピーチの様子。みんな真剣に聞いています。



4月14日、研究所近くの中華料理屋さんで、研修医の秦洋郎先生・加賀谷真起子先生の歓送迎会を行いました。



秦先生(左)は3月で研修を終えられました。加賀谷先生(右)は4月1ヶ月間の研修です。

楽しい乾杯の瞬間



中華料理。美味しそうに撮れました。

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: [office@sapporo-dermpath.com](mailto:office@sapporo-dermpath.com) website: <http://www.sapporo-dermpath.com>

編集担当：和田 ひろみ